



パーソン・センタード・ケアを基盤とした 認知症の人への 【ケア&リハビリテーション】 8つの具体策



※講義時間：約4時間

**認知症の人の生活障害を改善する
効果的なリハビリアプローチを!**

松下 太氏

森ノ宮医療大学 保健医療学部
作業療法学科 教授
認知症専門作業療法士 / 医学博士

作業療法士(認知症専門作業療法士)、医学博士、社会福祉士、介護支援専門員、福祉用具プランナー、認知症ケアマッピング基礎ユーザー(Basic Mapper)。1990年に作業療法士免許を取得し、病院や介護老人保健施設にて認知症の人のリハビリテーションに従事する。2009年四條畷学園短期大学リハビリテーション学科講師。2016年より現職。大学の教員となっても、重度認知症デイケアや特別養護老人ホーム、認知症初期集中支援チームなどで認知症の人の支援にかかわっている。

録画配信

[視聴期間]

21年 6/1(火)から
視聴可能になります。
※申込締切:21年 6/30(水)

オンライン

約2週間

参加料
税込

一般 12,000円 会員 9,000円

※講義時間約4時間の録画配信セミナーです。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

プログラム

1. パーソン・センタード・ケアを基盤としたリハビリテーションとは?
—「その人らしさ」を重視し心理的安定を目的としたリハビリテーション
2. 認知症の人に対する4つの視点からの
ケアとリハビリアプローチ
—「認知」「刺激」「行動」「感情」に焦点を当てた非薬物療法
3. 認知機能の回復を目的とした「認知リハビリ」
—「誤りなし学習」によるリハビリの効果的な進め方
4. 認知症の人の生活行為に対するケアとリハビリアプローチ
—ICFから生活障害を捉え介入するケアとリハビリテーション
5. 認知症の人の行為を引き出す
「手続き記憶」を用いたアプローチ
—脳機能の視点から手がかりの提示や環境の調整を工夫する具体例
6. 認知症の人の個別プログラム策定の際の留意点
—その人の「ナラティブ」の理解と「真のニーズ」の明確化
7. 重度認知症の人への五感を刺激する
ケアとリハビリテーション
—「感覚刺激」に働きかけるアプローチの具体例
8. 認知症があっても「その人らしさ」を取り戻す
ケアとリハビリテーション
—笑顔を引き出し「人間らしく生きる権利の回復」を!

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 170380

関連雑誌

季刊誌(定期刊行物・会員制)

個別ケア実現への具体策

認知症ケア

B5判 112頁
入会金 3,000円
年間購読料
13,620円(共に税込)

夏号以降の特集

- withコロナ時代の新しい認知症ケア[夏号]
- 介護施設における夏場のリスクマネジメント[夏号]
- 知らないうちにやっているかも? 不適切ケアの予防・改善[夏号]
- 軽度～中等度認知症の人への適切なケア[秋号]
- 認知症の人の「食生活」を守る具体策[秋号]
- 認知症の人を支える家族への支援・サポート[秋号]

17年連続合格者数全国No.1!

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士

日総研 **接遇大賞**

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研